

- 基本理念 -

もっと社会に役立つ

もっとお客様に喜んでいただける

もっと地球に優しい企業グループ

そして「ゆとりとやりがい」



お客様、社会の価値向上へ

当社グループは、急速なICT（情報通信技術）の発展に伴う需要拡大へ対応するため、人材採用の拡大と技術者育成を精力的に行い、また、ビジネスパートナーとの連携強化を行う等、体制強化を進め、さらに、重点技術分野「AIS-CRM」（※）での積極的な取り組みを展開し、付加価値向上に努めています。このような活動の下、主力である受託開発分野の拡大・付加価値向上とともに、プロダクト・サービス分野の積極的な展開、グローバル分野への取り組みとグループ連携の強化を引き続き進めています。また、予めから行っております働き方改革を加速させ、当社の基本理念である「ゆとりとやりがい」の実現に向けた生産性向上による残業時間削減等への取り組みを通じ、中期方針である「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指してまいります。

※ AIS-CRM(A：AI、I：IoT、S：Security、C：Cloud、R：Robot、M：Mobile&AutoMotive)

（次ページに図表化しておりますのでご参照ください）

事業活動を通して社会の発展へ

当社は、「もっと社会に役立つ もっとお客様に喜んでいただける もっと地球に優しい企業グループ そして「ゆとりとやりがい」」を基本理念として、持続的な成長と中長期的な企業価値の創出とともに、様々な企業活動を通して社会の発展に繋げることが、重要な使命であると考えています。

当社ビジネスの中核であるシステム構築分野においては、急速なICTの発展により、様々な分野でソフトウェア技術が重要視され、ICT利用の社会的ニーズが拡大しています。自動車関連やFA（工作機械）等、ソフトウェアでの制御がさらに重要となっている機械制御系、フィンテックという言葉に代表される金融業界、新たなビジネスが次々生まれ拡大を続けるネットビジネス分野など、あらゆる分野において、ICTの活用がビジネス発展のキーとなっているといっても過言ではありません。さらに、最先端のAIやロボット技術の応用、技術の発展とともに拡大するセキュリティへの脅威等、対応すべき技術分野はますます広がっています。当社は、積極的な人材採用と教育を行い、恒常的に不足している技術者ニーズへの対応を進めています。また、最先端の6つの技術分野であるAIS-CRM分野に積極的な投資を行い、新たな技術分野拡大にも果敢に対応しています。

プロダクト・サービス分野においては、モバイルコンテンツ管理市場2年連続シェアNo1（※moreNOTE、SYNCNEL 合算）である当社プロダクト「moreNOTE（モアノート）」の積極展開を行っています。このサービスを利用することで、ペーパーレス会議が容易に実現できるため、昨今の働き方改革推進の重要なツールとして様々な分野でご活用頂いています。当社内でも5年前より自社利用を行い、在宅勤務環境を整備し、多様な働き方を実現しています。また、当社のAIとロボット技術を結集したコミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」は、高齢者福祉施設で1000台以上導入されており、多くの高齢者や施設の運営者にご利用頂いています。こういった当社の最先端技術を結集した様々なプロダクト展開や海外の最新のサービス導入支援を積極的に行い、プロダクト・サービス分野での付加価値の提供に努めていきます。

今後も、ICTの発展を通して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

※ ITR「ITR MARKET VIEW：エンタープライズ・モバイル管理市場 2017」

モバイルコンテンツ管理市場：ベンダー別売上金額シェア 2016 年度・2017 年度予測

様々な企業活動への取り組み

当社は、「ものづくり」の楽しさを知ってもらうことを目的に、国内最大規模のロボット競技大会「全日本ロボット相撲大会」を１９９０年より主催しています。この大会に参加された多くの方々が、多方面で活躍されており、「ものづくり」の裾野拡大に繋がっています。

近年、当社が考案したロボット相撲は、海外において「相撲ロボットの制作はロボットテクノロジーの習得に適している」と高く評価され、世界各国でロボット相撲大会が開催されています。２０１６年１２月に開催した第２８回大会では、１０５３台の相撲ロボットの中から勝ち進んだ６４台が相撲の聖地、両国国技館で競い合い、海外からも２０ヶ国７２台相撲ロボット、２３０名の選手・関係者が来日し、日本代表と世界一を争う「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT ２０１６」を開催いたしました。今後もロボット相撲を世界中に普及させると同時に、さらに多くの皆様に「ものづくり」の楽しさを知って頂き、またロボットテクノロジーを学ぶきっかけとして本大会が末永く続けられるよう、尽力してまいります。

また当社グループの特例子会社である富士ソフト企画は、日本で最多の精神障がい者を雇用する企業として、そのノウハウを活かした就労支援プログラムを構築し「就職予備校」を開始。数多くの就労希望者をサポートしています。こうした実績が評価され、「障害者雇用職場改善好事例」として最優秀賞を受賞しています。今後も「就労移行支援事業」の事業者として、多くの方々の就労支援に取り組んでいきます。

この他、子会社である富士ソフト・ティッシュエンジニアリングによる先進的な再生医療の取り組みなど、様々な企業活動を通して、社会の発展に貢献してまいります。

被災地支援の取り組み

当社グループでは、震災や豪雨災害等の被災地に対し、これまで義援金の寄付やＩＣＴを活用した復興支援、社員のボランティア活動などに取り組んでいます。２０１７年７月に発生した九州北部豪雨災害に対しても、人的支援、義援金の寄付などの復興支援を行っています。

一方で、２０１２年１１月に、岩手県奥州市より特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）の認可を受けた「ＩＴ工房ひのき」を通して、被災地のみならず、少子高齢化が進む過疎化地域での支援や里山保全活動、社会貢献イベントへの参加など、幅広い活動を行っており、今後も継続して取り組んでまいります。

代表取締役 社長執行役員

坂下 智保